



日本住を快適空間!

# ダンネット通信

2005.2-3 vol.42

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目 63-636 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

今月のトピックス

## 京都議定書がついに発効!

このままでは地球が危ない

平成9年に行われた地球温暖化防止京都会議（COP3）で採択された京都議定書が、2月16日に発効となりました。この議定書で日本は2008年から2012年の期間中にCO<sub>2</sub>など6種類の温室効果ガスを1990年度比で6%削減することが定められており、民生部門ではいよいよ住宅・建築物の省エネ化が急務となりました。

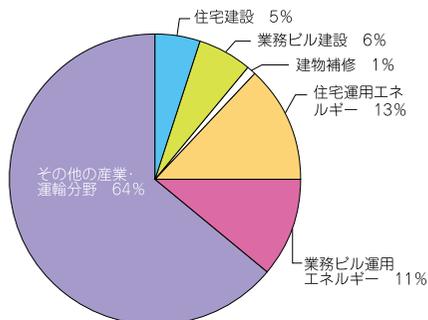
COP3での温室効果ガス削減



地球環境を守るのにいよいよ「待たなし」の時代となった

目標の決定を受けて、日本では平成10年に『地球温暖化対策推進大綱』を取りまとめ、その中でエネルギー消費にともなうCO<sub>2</sub>排出量を2010年に1990年と同じ水準まで削減することを目標としています。しかし、すでに1999年にはCO<sub>2</sub>排出量が1990年比で約9%増えており、このまま何もしなければ2010年には約21%増えてしまうそうです。

それではCO<sub>2</sub>排出量を抑えるにはどうすればいいのでしょうか。日本でCO<sub>2</sub>排出量の目安となるエネルギー消費を部門別に見ると、産業用が約半分、運輸用と民生用が4分の1ずつとなっていますが、中でも運輸用と民生用が高い伸びを示しています。実はその中でも特に住宅におけるエネルギー消費は暖冷房や給湯、家電などのエネルギーが増えており、住宅が建った後の運用エネルギー消費の低減が大きな課題になっていることがわかります。そこで住宅の運用エネルギーを低減するため



日本のCO<sub>2</sub>排出量に占める建築関連の割合

に、次世代省エネルギー基準への対応などによる高断熱・高气密化が改めて必要になってくるわけです。

### 温暖地の高断熱化が重要

CO<sub>2</sub>排出量削減でカギを握るのが、関東以南の温暖地における高断熱化です。関東以南の温暖地では、まだ高断熱化に対する理解が得られていないことも多いようですが、住宅着工量・住宅ストック量ともに国内の多くを占める関東以南の温暖地で高断熱化によるエネルギー消費量の削減を進めていかなければ、CO<sub>2</sub>排出量はなかなか減らせません。京都議定書の発効を機に、温暖地でも寒冷地でもよりいっそうの高断熱化を考えていきたいものです。

特集

# シュトーサーモ・クラシックの魅力を探る

〈その1〉

最近注目を集めている工法として、外断熱と湿式外装（塗り壁）が挙げられます。外断熱は躯体を断熱材ですっぽり包むために熱橋がほとんどなく、気密化もしやすいというメリットがあり、湿式外装は個性的なデザインを提案できるといメリットがあります。その両方を同時に実現するのがタネツの「シュトーサーモ・クラシック」。今回から連載でシュトーサーモ・クラシックの魅力をみなさんにお伝えしていきたいと思えます。まず第1回目はタネツ市場開発推進室の野村秀二室長にこの工法の特長を中心にお話を伺いました。

## 非常に完成度が高い工法

「シュトーサーモ・クラシック（以下STO）に取り組むことになったきっかけは？」

野村室長（以下野村）「当社ではブローイングを始めとして断熱に関わるあらゆる工事・製品を取り扱っています。数年前まで外断熱は未開拓の分野でした。そこで当社でも外断熱に取り組もうと考え、いろいろな外断熱システムの採用を検討してきましたが、その中で最も完成度が高かった工法がドイツのSTOだったのです。STOは平成15年春か



シュトーサーモ・クラシックの国内第1号施工物件は、平成15年秋に北海道蘭越町で建設された

ら本格的に日本に導入され、その年の秋に当社で国内第1棟目の施工を蘭越町で行っています」。

## ノンセメント&豊富な部材

「完成度の高さとは具体的にどういふ部分を指すのでしょうか？」

野村「まずは断熱材のEPS（ビーズ法ポリスチレンフォーム）の上に塗るベースコートがアクリル樹脂100%で、セメントを一切使っていないことです。類似工法はベースコートにアクリル樹脂とセメントを混ぜていますが、セメントは乾燥して収縮するためクラックが発生する可能性があります。アルカリ性なのでベースコートに伏せ込むグラスファイバーメッシュを劣化させる原因にもなります。それではベースコートが保護層・強化層になりません。また、セメントは時間が経つほど中性化が進んで強度が落ちるといった問題もあります。ベースコートにセメントを使わないSTOは、これ

らのリスクを考慮する必要がないので

さらに、ありとあらゆる納まりに対応できる豊富な特殊部材も大きな特長です。例えば類似工法は開口部



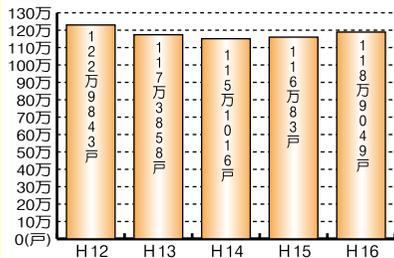
シュトーサーモ・クラシックの構成

## ニュース・セレクション

### 住宅着工は今年も 120 万戸割れ

国土交通省の統計によると、平成 16 年の新設住宅着工戸数は、118 万 9,049 戸、前年比 2.5% 増となり、2 年連続で増加したものの 4 年連続の 120 万戸割れとなった。

戸建てマイホームを示す持家は 36 万 9,852 戸、前年比 0.8% 減で減少幅は少ないながら 2 年ぶりのマイナス成長。賃貸アパート・マンションなどを示す貸家は 46 万 4,976 戸、同比 3.0% 増となり、4 年連続の増加となった。官舎・社宅などを示す給与は 8,720 戸、同比 4.8% 減。建売住宅や分譲マンションを示す分譲は 34 万 5,501 戸、同比 5.8% 増と、昨年に続いて増加している。



ここ 5 年間の国内新設住宅着工戸数の推移

### 省エネ性能高い住宅に金利優遇

住宅金融公庫では、平成 17 年度から民間金融機関との協調型融資である証券化支援ローン「フラット 35」で、省エネ性能など一定の要件をクリアした住宅に対して金利を優遇することを明らかにした。実施時期や技術基準などは 17 年度予算成立後に決まる見通し。

公庫は平成 18 年度から新しく設立される、民間金融機関の支援・補完を目的とする独立行政法人に業務を移行する予定で、住宅の質の確保・誘導も独立行政法人の業務として検討されているが、それに先立ち平成 17 年度から「優良住宅取得支援制度（仮称）」を創設、省エネルギー性能の高い住宅について融資当初 5 年間について、0.3% 程度金利を優遇する計画。省エネルギー性能以外にも耐震性能やバリアフリー性能などの要件が予定されている。

### 登録住宅 100 万戸キャンペーン

（財）住宅保証機構では、住宅性能保証制度の登録住宅がもうすぐ 100 万戸の大体に達するのを記念して、「100 万戸キャンペーン」を行っている。

キャンペーン第 1 弾として、3 月 31 日まで液晶テレビや加熱水蒸気オープン、ギフトカードが抽選で当たるクイズをホームページ上で実施しているほか、4 月 30 日まで同制度に住宅登録の申請を行なうともらえるアンケート用紙に回答すると、抽選で Q.U.O カードがプレゼントされる。詳しくは同財団ホームページ (<http://www.ohw.or.jp/>) を参照のこと。



タネツ市場開発推進室の野村室長

廻りをシーリングする必要がある、その部分が断熱欠損にもなりますが、STO では開口部廻りに独自の水密材を挟んでからベースコートを施工していくので、断熱欠損はできませんし、コーキングのように後々メンテナンスが必要になることもありません。

### 味のある外装を実現

「ビルダーは STO を採用することによってどのようなメリットが得られるのでしょうか？」

野村「湿式の外装仕上げが見直されてきている中で、昔の家を思わせる『味』のあるテクスチャーを実現できるのが大きな魅力です。しかも優れた柔軟性によってクラックという湿式外装につきまといていた不安もありません。また、構造体の水蒸気を室外に発散する、いわば呼吸する構成なので、通気層を設ける手間や材料は不要です。断熱材は専用接着剤で貼り付けるのが基本ですが、ジベルという専用金具で躯体にしつ

かり留める方法もあるため、一般的な外断熱のように外装材が垂れ下がってくる心配も不要です。RC の建築物は耐火認定を取得していますが、木造建築物はまだ認定を取得していません。そのため現時



柔軟性に優れており、非常に耐クラック性が高い。従来の湿式仕上げとは別物と言える

点で新築の木造住宅に使うことはできませんが、これまで RC 住宅や増改築で高い評価を頂いています。木造の耐火認定についても年内には取得したいと考えています」。

「今後はどのように普及を進めていくお考えでしょうか？」

野村「今までと同じく、まずは設計に取り込んでもらうことを考えています。計画中の物件が実施設計にかかりそうなタイミングで STO の魅力をアピールしようと思います。あわせて公営住宅のストックに対しても、改修方法として外断熱は欠かせない手法だと考えているので、どんどん提案していきたいですね」。

「どうもありがとうございます」。



気密性能が出ない原因は？

Q：関東でもこれから高断熱・高気密化が必要になると思い、いろいろ工法改良を行ってきましたが、気密測定を行ってもなかなかいい数値が出ません。どうしてでしょうか？

A：気密測定を行ってもいい数値が出ないのであれば、まずは使っている気密化部材と施工方法を見直す必要があると思います。

気密化部材は、防湿・気密シートの厚さが大きなポイントになります。シートの厚さが薄いとジョイント部分でシート同士が圧着せずに隙間となってしまう可能性が高いため、シートは必ず0・2mm厚の製品を選ぶこと。ただし、0・2mm厚のシートを注文したにもかかわらず、届けられたのは0・1mm厚のシートで、大工もそれに気付かなかったと



防湿・気密シートは0.2mm厚の製品を使うべき

いう話もあるので、現場管理者がしっかりチェックしたいものです。次に施工に関してですが、防湿・気密シートのジョイント部分は、必ず木下地のあるところでシートを重ねてボードで押さえるのが基本です。下地のない場所ではいくら気密テープを貼っても接着力は期待できません。逆に下地のある場所ではシートを重ねて上からボードで押さえるだけでシート同士が圧着されるので、余計な手間暇をかけずにしっかりと気密層が形成されます。このほかにも土台廻りや桁廻り、配管周辺の気密施工もチェックポイントですが、まずは防湿・気密シートの厚さとジョイント部分の処理を確認してみてください。

●編集●後●記●

◆ダンネツ通信も発行部数が40を超え、皆様のニーズにできるだけお応えできる内容にしていきたいと考えています。ご要望ご意見がございましたら、弊社営業担当またはホームページより電子メールにてお申し付け下さい。(佐野)

◆2月の北海道は札幌の雪まつりを始め、各地で様々なイベントがありますが、地元に住んでいるとなかなか足を運びません。それでも大勢の観光客が楽しそうにしていると、来年こそ見てみようという気持ちになります。(水越)



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netsu.co.jp/>  
E-mailアドレス [info@dan-netsu.co.jp](mailto:info@dan-netsu.co.jp)

『快適な住まいづくり』はお任せ下さい！

- ローイング工事
- 気密・換気工事
- 防水工事
- グラスウール工事
- 吹付・注入工事
- パネル製造

■本社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町2962番363	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■千歳営業所	〒066-0008 千歳市根志越2190-27	TEL(0123)26-4111 FAX(0123)26-4112
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■高崎支店	〒370-3523 群馬県群馬郡群馬町大字福島738番地1	TEL(027)373-7199 FAX(027)373-5583
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸営業所	〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡3660-15	TEL(029)291-1822 FAX(029)291-1825
■ダンネツ信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016